

2023年1月30日

## 新規受託項目のお知らせ

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、この度、下記の検査項目を新たに受託開始させていただくことになりましたので、ご案内申し上げます。

今後も弊社では皆様方のご要望にお応えできるよう、検査内容を充実させて参りますので、何卒お引き立ての程、宜しく願い申し上げます。

敬白

記

### 【新規受託項目】

コードNo.	検査項目名
13912 (従来システム 6278)	<血中薬物濃度測定> クロザピン (商品名: クロザリル)

クロザピン(商品名:クロザリル)は、治療抵抗性統合失調症の抗精神病薬で、既存の治療薬が効かない治療抵抗性統合失調症に限り投与適用となります。

処方量と血中濃度との関係は個人差が大きいとされますが、血中濃度と相関のある副作用も報告されております。クロザピンの血中濃度測定は、投薬による有害事象を減らし、有効な処方量を把握する指標として重要です。

本検査は、LC-MS/MS 法により、クロザピンおよび代謝物であるデスメチルクロザピンの血中濃度をご報告いたします。

【開始時期】 2023年2月13日(月) ご依頼分より

尚、詳細につきましては、営業担当者またはインフォメーションまでお問い合わせ下さい。

## 【受託要領】

コード No. (括弧内は 従来システムコード)	(親)13912 (6278) クロザピン
	(子)23137 (6279) クロザピン (子)23138 (6280) デスメチルクロザピン
検体量	血清 0.3mL
採取容器	1 (血清・血漿分離容器) → 1 (血清・血漿分離容器)
保存方法	凍結
検査方法	LC-MS/MS
基準範囲	なし
単位	ng/mL
所要日数	4～10日
報告範囲	10.0未満～最終値
報告桁数	小数第1位
保険点数	470点(特定薬剤治療管理料1)
	統合失調症の患者であって治療抵抗性統合失調症治療薬(クロザピン)を投与しているもの
備考	血清分離剤入り採血管は使用しないでください。

## 《検査方法の参考文献》

Rao L. V. et al. : J. Clin. Lab. Anal. 23, 394～398, 2009.

佐藤 紀宏, 他: 島津製作所 Application Note 73,

LC/MS/MSを用いたクロザピンおよび2種の代謝物の新規血漿中濃度測定法の構築.1～4, 2021.

[https://www.an.shimadzu.co.jp/aplnotes/ap\\_aplnote73-jp.pdf](https://www.an.shimadzu.co.jp/aplnotes/ap_aplnote73-jp.pdf)

## 《参考資料》

クロザリル適正使用委員会編:クロザリル患者モニタリングサービス(CPMS)運用手順(第6.1版)

[https://www.clozaril-tekisei.jp/sites/clozaril\\_tekisei\\_jp/files/2022-10/CPMS\\_6.1.pdf](https://www.clozaril-tekisei.jp/sites/clozaril_tekisei_jp/files/2022-10/CPMS_6.1.pdf)

以上